令和８年度　授業改善推進プラン（課題分析と授業改善策）　　２２１　練馬区立練馬東小学校

算数	課題分析	授業改善策
１年	・文章問題を正しく読んで内容を具体的にイメージし、たし算かひき算かを判断して正しい式を立てられるようにする。［思考・判断・表現］ ・基本的な加減法を正確に計算できるようにしていく。［知識・技能］	・一つ一つの言葉を丁寧に確認し、具体物や半具体物等を用意したり、デジタル教科書を活用したり、視覚的に文章の意味を理解できるようにする。［思考・判断・表現］ ・習熟の時間を毎時間作ったり、デジタルドリル等も活用したりしながら、児童の理解を深めていく。［知識・技能］
２年	・基礎・基本の理解が不十分で、学習内容が定着していない児童が一定数見受けられる。［知識・技能］ ・文章問題を正しく読んで理解し、式を立てたり答えを求めたりすることに課題がある。［思考・判断・表現］ ・学習に対して受け身になってしまう児童が一定数見受けられる。［主体的に学習に取り組む態度］	・単元ごとの習熟プリントや具体物、デジタルドリル等を活用し、基礎知識の定着を図る。［知識・技能］ ・具体物や半具体物等を操作したり、デジタル教科書を活用したりしながら、問題設定の場面状況をより正しく理解できるようにする。［思考・判断・表現］ ・子供たちと一緒に問いを作ったり、生活と密着した問題を意図的に設定したりする。［主体的に学習に取り組む態度］
３年	・時刻と時間の求め方、表とグラフなど、四則計算など基礎基本の概念を確実に身に付けられるようにする。［知識・技能］ ・文章題の題意を理解し、自分の考えを明確にして、問題解決できるようにしていく。［思考・判断・表現］	・教科書の振り返りやノート、ドリルなどによる復習を行い、習熟を図るとともに、東京ベーシック・ドリルを活用し、定着を図る。また、ICT や具体物を利用し、理解を深めていく。［知識・技能］ ・文章題からイメージすることを図や言葉で表し、立式の根拠をもったり、それを友達と交流したりして、考え方を確かめたり広げたりできるようにする。 ・既習事項の復習を授業の導入で行い、既習事項と関連付けて取り組めるようにする。［思考・判断・表現］

4年	・小数、分数の意味や表し方、図形の構成を理解し、整数、小数、分数の計算、作図の技能を身に付けられるようにする。［知識・技能］ ・数直線や図を使うよさを知り、数直線や図を用いた表現や問題解決方法に慣れる必要がある。［思考・判断・表現］	・教科書の振り返りやノート、ドリルなどによる復習を随時行い、習熟を図るとともに、東京ベーシック・ドリルやデジタルドリル等を日常的に活用し、定着を図る。［知識・技能］ ・問題文を数直線や図に表現する場面を設け、児童同士での交流を通して理解を深めるようにする。［思考・判断・表現］
5年	・小数のかけ算、わり算、面積や体積の計算といった基礎・基本を定着させる学習活動を適宜設ける必要がある。［知識・技能］ ・文章題の意図を読み取り、数直線や図を活用し、正確に立式できるようにする。［思考・判断・表現］	・教科書の振り返りやノート、ドリルなどによる復習を行い、習熟を図るとともに、東京ベーシック・ドリルやデジタルドリル等を活用し定着を図る。［知識・技能］ ・随時教科書の振り返りを行い、数直線や図を用いた解決方法を確認し、定着を図る。既習事項を活用し、また問題文からどのような式になるかを作図や言葉から導き出せるようにする。児童同士で説明し合い、理解が深まるような学習方法を工夫する。［思考・判断・表現］
6年	・基礎・基本の理解が不十分で、学習内容の積み重ねが見られない児童がいる。反復練習や定着を図る指導を強化する必要がある。［知識・技能］ ・思考力・表現力を要する課題に児童間の理解差が大きく、考えを深めにくいため、多様な考え方に触れる機会を意図的に設ける必要がある。［思考・判断・表現］ ・学習に対して積極的な児童がいる一方、学習に受け身であり、主体性や粘り強さが十分でない児童もいるため、学習意欲を高める工夫が必要である。［主体的に取り組む態度］	・教科書やドリルの練習問題や復習を繰り返し行うことで、確実な定着を図る。採点や振り返りで単元ごとに理解の確認を行い、つまずきの早期発見につなげる。［知識・技能］ ・既習内容の活用や、図・表・グラフ・式など多様な表現手段を用いた解決活動を通し、根拠をもって自分の考えを説明し、友達との違いや共通点を見つけ、そのよさに気付けるようにする。［思考・判断・表現］ ・話合いや協働活動を通して、学び合いながら、粘り強く考える姿勢を育てる。また、学習の見通しや振り返りの時間を設け、自らの課題に気付き、目標をもって取り組めるようにする。［主体的に取り組む態度］

専科	課題分析	授業改善策
音楽	・音楽を聴き、その要素と構造との関わりを結び付けて演奏したり聴いたりする学習活動を意図的に設定する必要がある。［知識・技能］ ・歌声や楽器の音色の美しさ、他者と協働して表現を工夫する喜び等に気付くことができる課題提示の工夫をする必要がある。［主体的に取り組む態度］	・演奏したり鑑賞したりするときに、音色や音楽の要素や構造に触れ、表現に生かす活動を設ける。［知識・技能］ ・児童同士で考えを共有したり、表現を工夫したりする場の設定を多くすることで、他者と協働して表現する喜びを感じ、主体的に取り組めるようにする。［主体的に取り組む態度］
図画工作	・生活経験の差から、習得している知識や技能に大きな個人差があるため、導入での全体指導・個別指導をそれぞれ充実させていく必要がある。［知識・技能］ ・児童がつくりだす活動を楽しめるように各学年の実態に合った題材設定をする必要がある。［思考・判断・表現］［主体的に取り組む態度］	・ICT を活用して視覚的に手順や方法を動画で見せたり、板書で時間や手順を明確に示したりして、児童が自分の力で活動できる機会を増やす。［知識・技能］ ・児童の実態に応じて造形遊びや共同でつくる活動、鑑賞活動などを多く取り入れ、発想・構想することへの抵抗感を取り除いていく。［思考・判断・表現］［主体的に取り組む態度］
外国語	・各 Unit の基本的な表現や関連語句の定着を図り、使えるようにする。［知識・技能］ ・基本的な語句や表現を生かし、話す順序などを考え、相手に分かりやすい工夫したスピーチができるようにする。［思考・判断・表現］ ・より児童同士で積極的に関わり合い、伝え合えるように、学習の場を工夫する必要がある。［主体的に取り組む態度］	・授業者と ALT とのやり取りや、個別指導での ALT とのやり取りを増やし、各 Unit の基本的な表現や関連語句の定着を図る。［知識・技能］ ・基本的な語句や、表現が定着するまで、授業者・ALT との発音練習を授業の中で数多く行い定着するようにする。その上で話す順序などの工夫を指導し、スピーチ活動を行うようにする。［思考・判断・表現］ ・まずペアでの活動を重視し、ペアでのやり取りに慣れてから、グループや友達同士のやり取りを行う。［主体的に取り組む態度］